

令和2年度中学校柔道授業の安全に関する指導者研修会



1. 日時 令和2年8月27日(木)

2. 会場 霧島市国分武道館

3. 参加人数 21人

4. 研修内容

- (1) 「安全で学習指導要領の趣旨を生かした柔道授業」
- (2) 実技研修

～研修会の目的～

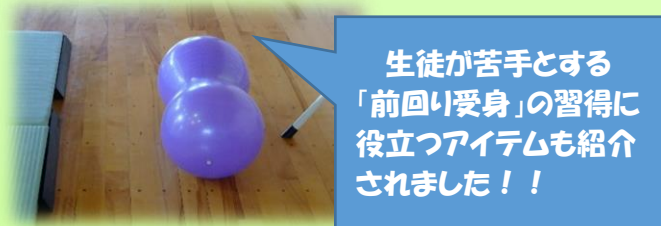
中学校学習指導要領保健体育科で必修である武道の授業を充実させ、併せて、安全面への配慮が必要な柔道授業についての指導者研修会を実施することにより、指導者として必要な知識や指導技術の習得を図る。



5. 参加者から

新型コロナウイルス感染症防止対策への対応と学習評価について考え方も示してもらい、とてもありがたかった。教科部会で共有を図り、これからの教科指導に生かしていきたい。

準備運動から基礎的な動きまで大変ためになった。ICTの活用も言われているが、「動画」もうまく作成されており、これからの指導に生かすことができると思った。



生徒が苦手とする「前回り受身」の習得に役立つアイテムも紹介されました！！

【バランスボール】

子どもの欲求と安全を両立させることはとても難しいと思うが、「まず安全」という意識を改めて持って、授業に取り組もうと思った。

★ 武道の授業における重大事故「0(ゼロ)」の徹底

[学校体育(武道)における事故発生事例]

※ 令和元年度

学年	性別	事故発生時の状況
1年 5人	男性 11人	○ 受身練習4人, 約束練習7人, 自由練習3人 ※ 受身練習や約束練習など初歩的な練習での事故が目立つ。体のさばきが不慣れな生徒もいるため、めざす動きに向けて、スモールステップで基礎的な動きに慣れさせるなどの工夫が求められる。
2年 3人	女性 3人	
3年 6人	計 14人	